

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2008-23406(P2008-23406A)
 【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)
 【年通号数】公開・登録公報2008-005
 【出願番号】特願2006-195154(P2006-195154)
 【国際特許分類】

B 0 1 J 19/00 (2006.01)

B 8 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 19/00 3 2 1

B 8 1 B 1/00

G 0 1 N 37/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月23日(2009.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マイクロリアクター本体、
 前記マイクロリアクター本体内に形成された微小流路、及び、
 前記マイクロリアクター本体に着脱可能に設けられ、前記微小流路端部に給排パイプを
 接続する一体型接続部を有することを特徴とする
 マイクロリアクター装置。

【請求項 2】

前記マイクロリアクター本体が第 1 の基材及び第 2 の基材の接合により形成され、接合
面に微小流路が形成された、請求項 1 に記載のマイクロリアクター装置。

【請求項 3】

前記一体型接続部が、接続部本体、前記接続部本体に固定され給排パイプを接続可能な
ジョイント部材、及び、前記接続部本体を前記マイクロリアクター本体に着脱可能な固定
 手段を有する、請求項 1 又は 2 に記載のマイクロリアクター装置。

【請求項 4】

前記ジョイント部材の中心軸が、前記マイクロリアクター本体における前記微小流路端
における接線方向に一致するように設けられた、請求項 3 に記載のマイクロリアクター装
 置。

【請求項 5】

前記マイクロリアクター本体が前記微小流路端部付近に切り欠き部を有し、この切り欠
き部に前記一体型接続部を着脱可能にはめ込んだ、請求項 1 ～ 4 いずれか 1 つに記載のマ
 イクロリアクター装置。

【請求項 6】

前記一体型接続部の接続部本体と前記マイクロリアクター本体との間に弾性部材で構成
されたリング状の閉塞部材を取り付けた、請求項 1 ～ 5 いずれか 1 つに記載のマイクロリ
 アクター装置。

【請求項 7】

前記第 1 の基材及び前記第 2 の基材が熱可塑性樹脂よりなる、請求項 2 ～ 6 いずれか 1 つに記載のマイクロリアクター装置。